やりたい！の連続

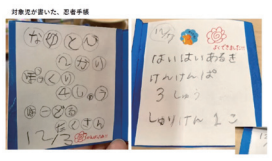
山梨県のバンビバイリンガル幼稚園さんに、ミマモリングソフトウェビナーでの実践発表をして頂きました。

「積極的に外で様々な運動をする」という発達課題に対して、「どんな環境を用意すれば、子どもたちが自ら選択し、熱中するような環境になるのだろうか」と考えながら先生方の関わりや環境を見つめていったそうです。そして環境を整えていくと、子どもたちが自ら楽しそうに遊び出し、苦手だと思っていた文字や集団遊びも楽しむようになったと言います。

環境を整えることで子ども自身が熱中し変わっていく姿を見ながら、先生方も環境設定を楽しんでいたようです。

そんな今回の環境設定のキーワードは「修行」だったそうです。その子の一番の関心ごとをしっかりと掴んでいた先生は、環境設定を「修行」になぞらえて行うことで、普段苦手なことも「やりたい！」となっていき、そしてその環境設定は一人にだけでなく、いろんな子どもたちにとっても「やりたい！」の環境になりました。

子ども自らが選べるという選択制の保育を取り入れる中で、自由に選択できる環境があっても、自らの興味関心とその選択肢のどれが結びつくかを子ども自身が理解することは容易ではありません。だからこそ、今回の発表のように、「子どもの発達と興味関心を保育環境と結びつけてあげる」という寄り添いが大切なのだと学ばせていただきました。同時に先生方が楽しそうにその子の姿や個性を話している姿からは、子どもたちに対する「傾聴・共感・受容・感謝」を行う豊かな眼差しを感じ、心が温かくなりました。



丁寧な寄り添いが素敵な環境を育むんですね

ダイジェスト動画はQRコードを読み取りください！

拡がる環境づくり

第2回アースゲームセミナーを開催しました。アースゲームとは、チームで「協力」して目的を達成するゲームです。

セミナーは前編・後編の2部構成。前編では先生方にボードゲームで遊んで楽しんで頂き、後編のセミナーまでを実践期間として、2つの実践に取り組んで頂きました。

そのうちの一つの取り組みのテーマが、園内の遊びを振り返り、「競争」から「協力」に切り替えてみると、どのような姿が見られるかについてです。先生方からは、この取り組みについて「難しかった」というお声の一方で、様々な実践発表がありました。例えば、通常の椅子取りゲームのルールから、「なかよし椅子取りゲーム」と名前を改め、お友だちの膝の上に座っていいようにしたら、「こっちおいで〜、空いてるよ！」と誘い合って座るゲームに変わったという実践のお話。また別の園では、グラグラタワーを最初は倒してしまったら負けという通常のルールから、どうしたら倒れないかを話し合いながら行うと「ありがとう！」「すごい、おぉ〜！」と拍手が起こるなど、子どもたち同士の声掛けが変わりましたと発表して頂きました。

ボードゲームを通して、「協力」について考える機会に！

セミナーに参加した先生方からは「保育士間で、協力について考える時間を設けていきたい！」「他園の発表を聞き、ゲームの捉え方次第で遊びの幅が広がりました！」とお声を頂きました。

先生方の発表から、各園の取り組みはシェアすることでより保育の幅が拡がることを感じました。今後も「協力」が生まれやすい環境づくりを先生方と一緒に取り組ませて頂けたらと考えています。

坐禅〜入門編〜

先日、クルーみんなで「坐禅」を体験させて頂く機会がありました。禅を世界に伝える活動もされている僧侶の方との出会いがあり、私たちが取り組む「暮らしフルネス」と、心身を整える坐禅は通じるところがありそうだと感じたため、体験の場を用意して頂きました。

当日は僧侶の方を含め、それぞれが離れた場所からオンラインで参加しました。坐禅がオンラインでできる!? と、坐禅のイメージとの違いに、驚きとともに果たして自分たちにできるのだろうかと不安もありました。

しかし教えて頂いたのは形式や場所ではなく、「整える」という坐禅の考え方でした。

坐禅を始める前に部屋を整える。合掌一礼。余計な力を抜き、体を中心軸に置く。複式呼吸を意識する。途中で疲れてきたり、どこか痛くなってきた時にはもう一度自分が落ち着く所に重心を戻す。など、基本はあるのですが、だからといって「こうしなさい」と型にはめるのではなく、自分にとって心と体を整えられる最適な方法を探す時間のようにも感じました。

坐禅で大切なことは調身（姿勢を調える）、調息（呼吸を調える）、調心（すると自然に心も調う）だそうです。実際に10分間坐禅をしてみると、余計な力が抜けることで普段は気付かない体の部分が動いていることを感じられ、また一つひとつの動作に合わせて合掌をすることで、生きていることへの感謝を深く意識する時間になりました。

忙しい日々でも、少しでも自分の体の声を聴く時間を持ち、整える習慣をつけていきたいと感じました。

心を整えると体も整う。心と体は繋がっていると実感します。

竹取新聞
発行所
株式会社 カグヤ
第152版

理念と実践で絆を結びます

平素より弊社の商品をご愛顧頂きましてありがとうございます。この新聞は、「子ども第一義」の理念のもとに活動しているカグヤクルーの日々の出来事・内省を発信することで、皆様の保育に少しでもお役に立てればと始めたものです。記事中はそのまま実践を表現することを優先し、乱筆乱文で恐れ入りますが、何卒ご容赦くださいますようよろしくお願いいたします。

カグヤクルーブログも毎日元気に配信中！
カグヤウェブサイト
www.caguya.co.jp
「聴福庵」の情報はFacebookで
神家総本家 聴福庵

CCN CAGUYA COMPANY NEWS カグヤニュース

カグヤでは、それぞれが別々の場所にいても、お互いの気持ちや様子をクルー同士はもちろん、皆様とも共有できるよう、毎日、ホームページでブログ配信しています。ここではその一部を抜粋して、日々の実践をご紹介いたします。

讃給（サンキュー）

新たな価値観（お金ではなく心の豊かさ）の発信源の一つとなればという想いから始まった「讃給」。

私たちは毎月のお給料日に合わせ「讃給」という実践を行っています。これは一緒に働く仲間の「お金に換算できない心遣い」や「個性や生き方&働き方、存在そのもの」など、プライスレスな価値に対する感謝の気持ちを本人へ届けるというもの。

始めた当初は「何を書いたらよいか分からない」「接点もないしサンキューとかない」などの声もチラホラありましたが、今では仲間だけでなく自分自身やお客様、会社（カグヤさん）に対しても感謝メッセージを書くほどに進化し、気付けばもう10年も続く大切な実践となっています。

讃給は受け手の嬉しさだけではなく、送り手としてもどれだけ人を頼りどれだけ人にフォローしてもらったかなどを振り返って、支え合いの関係を忘れずにいられるのも大きなよさ。またそんな仲間の存在は勿論、一緒に働くかけがえのない時や場、それを与えてくれているお客様や会社、そして見守ってくれている家族など、忙しい時には見えづらい、大事なありがたいものを沢山思い出す機会にもなっていて、これも環境の力だなぁと感じます。

これからも子どもたちに繋いでいきたい社会から考えて、職場環境や働き方を見直せたらと思います。

日本の智と慧

秒速50センチの風景

新年度の風景のひとつである「お花見」を今春は楽しめるでしょうか。「桜の花びらをぐい呑みに浮かべて」などという酒飲みの風情を今年は取り戻したいものです。もしお花見ができましたら「花びらの散る様子」もぜひ観察してみてください。一説には「無風状態で桜の花びらが散る速度は秒速50センチ」と言われます。これは「蛍が飛ぶ速度」と同じであり「牡丹雪が降る速度」とも同じだそうです。そう思うと、この自然にあるスピード感にも、人を優しく見守る「智慧と徳」があるようです。

咲くことや咲いている様子ばかりを喜びますが、散ることや散る様子にも「徳」を感じる余裕を持ちたいですネ！

実際に「秒速50センチ」で歩いてみると景色は広がります。普段はつい急ぎ足で通り過ぎてしまいますが「一歩一秒50センチ」で歩いてみると、道端に花を見つけたり、春風のせせらぎの音に気づいたり、春風の心地よさにホッとしたりする余裕も生まれるでしょう。これは「おさんぽカー」で子どもたちが見る風景に近いかもしれません。そこには子どもたちから学ぶ「自分の時間を取り戻す智慧」があるようです。

一期一会庵

先人の知恵

先日、熊本県阿蘇郡高森にある萱場に茅葺屋根用の茅を刈りにいくご縁がありました。

阿蘇の茅は国内でも特に良質だそうで、しっかりとまっすぐに伸びていて丈夫でしなかやで品があります。水をはじき、長持ちし、雨や風から家を守ります。この茅がまさか屋根になるとは、茅を刈りながら誰が考えたのだろうと歴史に思いを馳せました。きっと、最初は竪穴式住居に何か被せようとして水を弾くものを探し、断熱ができて長持ちするものをと周囲から探したのだろうと・・・。先人たちの観察力と、周囲の風土との共生の姿が想像できました。

もともと日本人が暮らしてきたかつての民家は、すべて自然素材で自然由来で完成されているものでした。今では、ほとんどが科学的なものでできていますし、あまり風土や自然は関係せずに家を建てます。しかし先人は鋭い観察眼で自然はどのような風土や環境でいかなる徳性を持っているのかを学び自然と共生してきたかがわかります。その証拠に、古民家の中には身近にある自然素材を上手に工夫して暮らしの中で取り入れています。草も木も土も石も見落とさず捨てるのではなくこれはどのような徳が備わっていてその徳にどう報いようかと謙虚に考えていたのではないかと思うのです。

これは現代のように何かに活用してやろうといった人間都合の見識ではありません。もっと自然への畏敬や畏怖、そして何よりもいのちを慈しむやさしさに満ちたものであるのを感じます。なぜなら、柔らかいも弱いもの、壊れやすいものでも上手にその徳性を尊重して活用していくものもたくさんあるからです。

もしたら、先人たちはどんなものの中にも、観える風景にも「いのち」を観ていたのではないかと感じました。

今の私があるのも、人類が続くのもすべて自然の恩恵、自然の御蔭さまです。自然素材自然由来に感謝してこそ、本当の意味で本物の加工品になるのです。

子どもたちのためにも、いのちのプロセスを外さずに忘れずに先人の生き方と大切な文化をできるかぎりそのままにして伝承していきたいと思います。

編集後記

知り合いからのこのようなメールにはご注意下さい！

世界では戦争が起きています。世界各国の「国をよくするため」という主張を世界中から集めても地球はよくなりません。必要なのは「地球をよくするため」という全体最適で考える力ではないでしょうか。「競争ではなく協力する環境」や「価値観の違いを受け入れ、折り合いをつけ、協力していく環境」を用意している皆様が未来の地球をよくしていくのだと感じます。ありがとうございます。

またこの混乱に乗じてなのかサイバー攻撃が流行しています。知り合いの名前から添付ファイルと解凍パスワードだけが届くようなメールは決して開かぬようお気をつけください！（眞田　海）

caguya 株式会社 カグヤ

カグヤは「子ども第一義」の理念を実践し、お客様の発展と自立に貢献していきます

ライトハウス（灯台）
〒101-0051 東京都千代田区神田神保町1-1-17
東京堂神保町第3ビルディング8階
tel.050-1744-8823
fax.03-3518-6218 ファックス番号が変わりました

カグヤウェブセンター
〒101-0051 東京都千代田区神田神保町1-1-17
東京堂神保町第3ビルディング8階
tel.03-3518-6217
fax.03-3518-6218

働き方と暮らし方の一致
暮らしフルネスについて